

学校だより 1月

令和5年1月13日
横浜市立大岡小学校
TEL (711) 0818
FAX (713) 3563

プロセスの中にある深い学び

校長 馬渡 照代

保護者の皆様、地域の皆様、あけましておめでとうございます。旧年中は、本校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。令和5年も心を新たに、子どもたちが安心して学校に通い、安全で豊かに学校生活を送れるよう、教職員一同、子どもたち一人ひとりをしっかり見守り、導いて参る所存です。本年も、どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、先月10日、本校で「生活科・総合的な学習」の公開授業研究会が行われました。来校者が教室に入っただけの参観は3年ぶりでしたので、いつも以上に換気を行うなど、感染防止対策をしっかりと行った上で実施いたしました。北は北海道から南は九州・沖縄地方まで、全国各地から多くの先生方が来校されました。遠方からの参観者が三分の一を占めたことから、大岡小の授業実践に期待と関心を寄せられているということが分かり、嬉しく思いました。

今年度、本校の「大岡の時間」では、創立150周年という記念すべき年であるということ踏まえて、各学級の材の多くが「創立150周年」に因む内容となっています。毎時間、どの学級も、子どもたちの「大好きな大岡小の150周年をお祝いしたい。」という思いにあふれた学び合いとなっています。この日も、大岡っ子の熱心に語り合い授業を楽しむ姿、探求しようとする意欲的な様子を存分にご覧いただくことができ、何よりだったと思っています。もちろん、本校の先生方が、「子どもたちが主体の学習」となるよう十分考え準備し、工夫した授業ばかりですから、見応えがあります。参観者の皆さんが、明日からの自分たちの授業実践に生かそうと、真剣なまなざしで授業を食い入るように見つめる姿が、とても印象的でした。

私は、授業を見ていて、改めて子どもたちがこれまで身につけてきた「話し合いを楽しむ」姿勢や態度に感心させられました。それは、あれだけ多くの人に見つめられているにもかかわらず、臆することなく自分の意見を堂々と発表したり、キラキラと目を輝かせながら熱い思いを語り合ったりする姿を、たくさん目にすることができたからです。そして、「自分たちが取り組んでいる材に誇りをもっている」ということも実感しました。

ご覧になった参観者の方も同様のことを感じたようで、アンケートにたくさん触れられていました。「子どもたちのもつ強い思いが熱を帯び、目（耳）を離せなかった。」「子どもたち一人ひとりが、自分の考えをもって授業に参加していることを生で見て実感し、とても感銘を受けた。」「授業に向かう姿勢、自分たちの思いを形にしていくという熱い思いが伝わり、とても刺激をもらった。」等々、子どもたちからも学ぶことがたくさんあったようです。「大岡の時間」は、これからも続きます。各クラスが、3月にはどのようなゴールを迎えるか、今から楽しみで仕方ありません。保護者の皆様も、「文化祭」の参観を楽しみにしててください。

ところで、毎年恒例の「2022年 今年の漢字」は、「戦」でした。私は、昨年、令和4年の漢字に「快」が選ばれるとよいと記しましたが、またも外れてしまいました。「戦」には、サッカーW杯のようなスポーツでの戦いで人々を熱狂させ楽しませてくれる、という意味合いもありますが、今の世の中では、良いイメージはあまりありません。来年こそ、世界が1日も早く平和な世の中となり、「こころよい・気持ちがい・喜ばしい・病気が治る」といった意味合いの「快」が選ばれるような、そんな1年となって欲しいと心から願っています。

最後になりますが、新しい年を迎えると同時に、令和4年度は、あと3ヶ月で終了になります。6年生は、卒業、そして進学に向けて気持ちを高めていく時期になります。下学年の子どもたちは、お世話になった6年生との別れを惜しみつつ、感謝の気持ちを込めて卒業式に向けての準備を進めます。学校中が卒業式を意識した毎日になりますが、各学年の1年間のまとめもしっかり行っていきたいと思います。また、今後も今まで通り感染対策をしっかり行い、子どもたちの健康に十分配慮してまいります。ご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。